

— 大手前学園創立80周年記念 —

2025年度
後期
公開講座

「阪神地域の文化・文学・歴史」

詳細は
こちら

第1回 9/7(日)

カフェ文化の魅力と
空間の力(癒しとつながりの視点から)大手前短期大学 非常勤講師
酒井 浩司 (さかい こうじ)

カフェはただの飲食店ではなく、文化の発信地であり、癒しの空間でもあります。この講座では、カフェの歴史をたどりながら、カフェ文化が社会に与えてきた影響を探ります。また、空間デザインがもたらす心理的効果や、コミュニティスペースとしての役割についても掘り下げます。カフェ文化を新しい視点で楽しむ方法を提案し、地域や世界の個性豊かなカフェの魅力を紹介します。カフェを通じた人々のつながりや創造的な楽しみ方に触れ、身近な空間がどれほど豊かな可能性を秘めているかを考えてみたいと思います。

Profile

インテリアデザイナー、SIA一級建築士事務所所長。大阪芸術大学建築学科卒業、東京都市大学大学院博士課程後期。九州女子大学(教授～03.2022)、国士舘大学理工学研究所特別研究員、(公社)日本インテリアデザイナー協会理事。イタリアS社のPMとしてStudio63(Italy)とともにアジア各地の旗艦店に携わる。海外で得たシステムを活用したデザインコンサルティングを得意とし、サステナブルな素材研究を行っている。著書「はじめての設計シリーズ②カフェ編(alpha books)」

第2回 10/11(土)

谷崎潤一郎、阪神間での
足跡-「細雪」その他-芦屋市谷崎潤一郎記念館 学芸員
井上 勝博 (いのうえ かつひろ)

文豪・谷崎潤一郎と阪神間との縁は、1923(大正12)年の関東大震災に始まります。東京日本橋生まれの江戸っ子谷崎が、震災を逃れてやってきたのが、阪神間だったのです。当時、文豪は40歳手前。一時の避難のつもりだった阪神間ぐらしは、20年間にもおよぶことになります。そして、円熟の年代にもあった阪神間での谷崎は、作家として一つの黄金期を迎えるのでした…。名作「細雪」を中心に、阪神間時代の文豪・谷崎とその作品世界を、阪神間の地域性をはじめ時代背景や私生活等にも触れながら、わかりやすくお話しします。

Profile

神戸大学文学部・神戸大学文学研究科・神戸大学文化科学研究科で、日本文学史を学ぶ。大阪商業大学講師・大阪外国語大学(大阪大学外国語学部)講師・神戸大学文学部講師等を経て、現在は、芦屋市谷崎潤一郎記念館学芸員として勤務。谷崎潤一郎とその作品世界を広く知っていただき、楽しんでいただくために、展示や講演をはじめさまざまな企画に携わっている。

第3回 11/8(土)

「和魂洋才」

茶道 武者小路千家 第14代家元 不徹斎
大手前大学 客員教授
千 宗守 (せん そうしゅ)

東京を中心とする関東方面の人々は京阪神という各都市の事々を「関西」という概念で一括りにして同等に考えている。しかしこれは我々関西に住まいする者から見れば誠に短絡な考えである。前記三都市はそれぞれ異なる歴史や文化を持っており、地域的には関東全域よりはるかに狭いがその個性は誠に千差万別である。

特に阪神間といわれる神戸市を中心とした地域は、京・大阪とは全く異なった特性を持っている。一口に申せばそれは「和魂洋才」ということであろう。今回は、私が専らにする茶の湯から見た、阪神地域の文化的特性を述べてみたい。

Profile

昭和20年生まれ。慶應義塾大学および同大学院にて修学の後、先代有隣斎の下で修練を重ね先々代愈好斎の頃から職分の薫陶を受ける。平成元年に第14代家元を襲名、不徹斎と号する。欧米やアジア各国の諸機関で文化使節として茶の湯啓蒙のための講演や指導を実施するかわら、国内でも東京藝術大学、大手前大学をはじめとする各大学で客員教授として活動。平成18年大手前大学名誉博士号を受く。平成9年京都府文化功労賞受賞、平成24年京都市文化功労者認定、令和元年旭日双光章受勲。

第4回 12/6(土)

阪神間と俳句
-古典俳句へのまなざし-大手前大学 国際日本学部 准教授
辻村 尚子 (つじむら なおこ)

近代の阪神間における、古典俳句の資料収集と研究は注目に値します。川西和露(神戸)による和露文庫や、岡田利兵衛(伊丹)の柿衛文庫は有数の俳文学コレクションとして知られています。俳人野田別天楼らによる研究成果の出版も進められました。阪神間モダンズムと称される、モダンでハイカラな文化が広がるなか、芭蕉や鬼貫といった古典俳句の世界に彼らは何を求めたのでしょうか。報徳商業学校(現報徳学園・西宮)校長の経歴を持つ野田別天楼が神戸で発行した俳句雑誌「雁来紅」を手掛かりに探ってみたいと思います。

Profile

大阪大学文学部卒業。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学。博士(大阪大学、文学)。専門分野は近世俳諧。第16回柿衛賞受賞。公益財団法人柿衛文庫に学芸員として勤務し、「芭蕉の手紙」「蕪村の手紙」等の展覧会を手がけた。2021年より現職。近年は、芭蕉の提唱した蕉風俳諧の受容や、門人書簡の研究に取り組んでいる。

大手前大学・大手前短期大学 2025年度後期 公開講座

開講日	第1回：9月7日（日）／第2回：10月11日（土）／第3回：11月8日（土）／第4回：12月6日（土） ※各回 10:00～11:30（受付 9:15～）		
会 場	大手前大学・大手前短期大学 さくら夙川キャンパス A棟教室		
受講料	全4回一括申込：3,000円／各回申込：1,000円 ※いずれも税込	定 員	各回 200名（先着順）
受講申込 受付期間	■ 全4回一括お申込みの場合／2025年7月7日（月）～8月25日（月） ■ 1回ごとのお申込みの場合／2025年7月7日（月）～各講座実施月の前月25日まで		
注意事項	1. 定員に達した時点で受付を終了いたします。 2. 申し込み時にいただいた個人情報は、講座関係の連絡や大手前学園からの各種お知らせ以外には使用いたしません。 3. 参加者による写真・動画・音声の記録は禁止とさせていただきます。 4. 期日までに受講料のご入金がない場合は、お申し込みを取り消させていただきます。 5. ご入金後のキャンセルにつきましては、理由の如何を問わず返金いたしかねますので、キャンセルされる場合は受講料振込みの前に大手前シティカレッジ事務局までご連絡ください。 6. 駐車スペースはございませんので、お車でのご来学はご遠慮ください。		
申込方法	○Webサイトからのお申し込み 本学Webサイト (https://www.otemae.ac.jp/social/learning/lecture/) または、QRコード「公開講座」サイト・申込フォームから必要事項をご入力の上、お申し込みください。 ○FAXでのお申し込み 受講申込用紙に必要事項を記入し、大手前シティカレッジ事務局（FAX:0798-32-5147）へ送信してください。 お申し込みいただいた方には大手前シティカレッジ事務局より、受講料のお振込み方法等お手続きに関するご案内メールまたは郵送いずれかの方法でお知らせいたします。受講料は各講座実施月の前月末日までにお振込みください。		

【2025年度 後期】 大手前大学・大手前短期大学 公開講座 受講申込用紙

※印は必須記入項目です。

フリガナ		性 別	※年 齢			
※氏 名		☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 未回答	☐ 10代 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上			
※住 所	〒					
※電話番号		FAX 番号				
※メールアドレス						
※申込講座 (ご希望の講座に ☒ を入れてください)	一括でのお申し込み ☐ 全4回（9月・10月・11月・12月） 1回ごとのお申し込み ☐ 9月講座 ☐ 10月講座 ☐ 11月講座 ☐ 12月講座					
★アンケートにご協力ください。今回、本講座を何でお知りになりましたか？該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）						
1. 本学 Web サイト 2. Web 広告 3. 新聞広告・コミュニティ誌 4. 事務局からの案内 5. 友人・知人の紹介 6. 施設配架チラシ 7. その他（ ）						

公開講座サイト

Webサイト



大手前大学 公開講座



・JR「さくら夙川駅」
・阪急「夙川駅」
・阪神「香櫨園駅」
より徒歩約7分

主催／お問い合わせ先（平日9:00-17:00）

大手前大学・大手前短期大学 地域・社会連携室 大手前シティカレッジ事務局
〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42
TEL:0798-32-7532 FAX:0798-32-5147 Email:occi@otemae.ac.jp
※土日祝日および8月13日（水）～15日（金）の夏期休暇期間は閉室となります。

後 援 西宮市 協 力 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

